

自然大好き ねいの里だより

50

春の七草

集めるのに苦労

日本では古くから、1月7日に七草粥しちそうじゆを食べる習慣があります。七草粥は、早春のまだ寒いこの時期に緑色をしているスズナ（カブ）とスズシロ（ダイコン）の他、セリ、ナズ

ナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザの7種類の植物を入れたおかゆのことです。

おかゆは、1年の豊作とよさきや家族の健康への願いを込めるとともに、正月に「ごちそうを食べ過ぎた胃を休ませる」という効果もあ

ります。

ねいの里では、現在これらを展示した「春の七草実物展」を開催しており、来年の1月4日～6日には、職員が苦労して集めた七草も実費でお分けすることとしています。

これらの植物は毎年同じ所にあるとは限らず、雪が降れば場所が分からなくなるため、職員は七草集めに毎年苦労しています。このように、苦労して集めた七草を是非見に来てくださ

苦労して集めた春の七草の実物展



(富永宣宏)